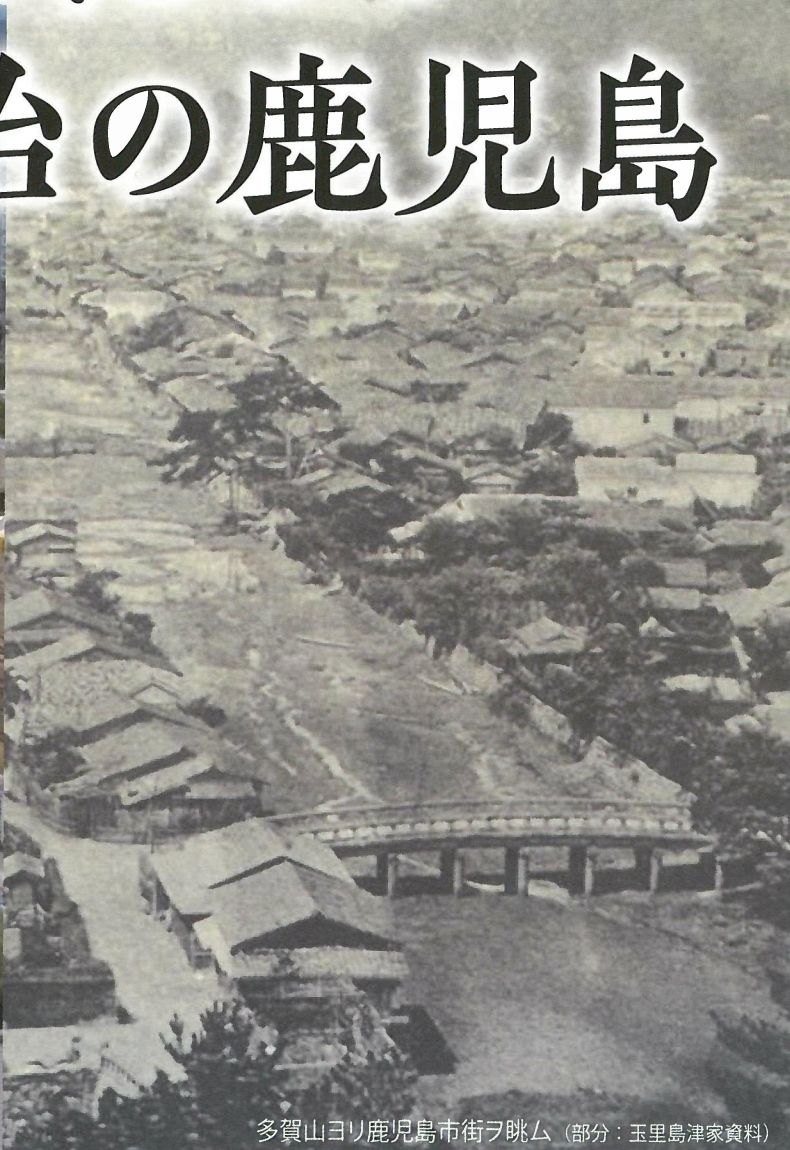


明治維新 150 周年記念

黎明館企画展

遺跡でたどる 幕末・明治の鹿児島



多賀山ヨリ鹿児島市街ヲ眺ム (部分：玉里島津家資料)

2018.9.4[火]~12.9[日] 開館時間 9:00~18:00 (入館は17:30まで)

会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館【3階 企画展示室】

休館日 平成30年は通常の休館日を臨時開館いたします。
※点検作業等でやむを得ず休館する場合があります。詳細は黎明館のホームページを御確認ください。

入館料 常設展示と共通 一般310円(230円) 高校・大学生190円(120円) 小・中学生120円(60円)

※()は20名以上の団体及び「西郷どん大河ドラマ館」との連携による入場料金等相互割引対象者の料金

※身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の提示のあった方と、その介護者1名は免除

※県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒と、その引率者については、教育課程等に基づく活動として

入館する場合は、事前申請によって免除

※鹿児島県内に居住する70歳以上の方は無料(年齢・住所が確認出来る書類の提示が必要)

※鹿児島県内に居住の18歳以下の方は、土・日・祝日に限り無料(年齢・住所が確認出来る書類の提示が必要)

(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

鹿児島県には、幕末から明治初期にかけて日本の近代化の礎を築いた様々な分野の遺産が数多く残っています。これらの一部は、平成27年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界文化遺産に登録されました。

登録に至るまでには、実態を解明するために、各地で様々な調査が行われました。その中でも、発掘調査では、幕末から明治期の近代化に関連する施設の一部や、当時の道具等が出土し、新たな発見や文献資料を裏付ける成果も得られています。

当企画展では、激動の時代ともいわれる「幕末・明治」の鹿児島について、各地の遺跡をテーマごとに紹介しながら、当時を振り返ります。

テーマで遺跡を見る

■湾岸の備え

鹿児島県内には、外国からの脅威に備えて薩摩藩が建設した施設等が多数残されています。

■薩摩のものづくり

薩摩藩では、在来技術「水車動力」を用い、様々な富国政策を実施しました。これらは、幕末期の歴史を動かす大きな原動力となりました。

■日々の営み

激動の時代においても、代々受け継がれた儀礼や儀式、日々の営みがあります。遺跡等から、当時の人々の姿を読み解きます。

■最後の内戦

国内最後の内戦と呼ばれる西南戦争を、各地に残された遺跡等から振り返ります。

■古今の道

街道として利用された当時の道や、記録に残っていない道跡等が各地の遺跡で調査されており、行き交う時の流れに思いをはせることが出来ます。



敷根火薬製造所跡(落水口跡)



鹿児島(鶴丸)城跡石垣に残る銃・砲弾痕



鹿児島紡績所技師館

企画展
関連行事

学芸講座「遺跡でたどる幕末・明治の鹿児島」

日時 2018.10.27[土]13:30~15:00 会場 黎明館3階講座室(80席)

講師 黎明館学芸専門員 上村俊洋 ※講座終了後、企画展の展示解説を行います(団体入館料が必要)。

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

TEL 099-222-5100 FAX 099-222-5143

〒892-0853 鹿児島市 城山町7番2号

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>

